

湖東圏域公共交通活性化協議会

事業名：平成27年度バリアフリー化設備等整備事業

目的 計画 目標 (P)

- 生活交通改善事業計画の名称
ノンステップバス導入事業
- 当該事業を実施する事業者：湖国バス株式会社
- 事業の目的および計画内容
車いす利用者をはじめ、歩行困難者や障がいをお持ちの方、高齢者、妊婦、ベビーカー使用者などあらゆる利用者に対し利便性を発揮するノンステップバスの導入を促進することにより、公共交通機関の利用環境の改善を図り、誰もが社会参加できる機会を増やすことを目的とする。
H27は、非低床車両2両をノンステップバスに置き換えることを計画する。

具体的取り組み (D)

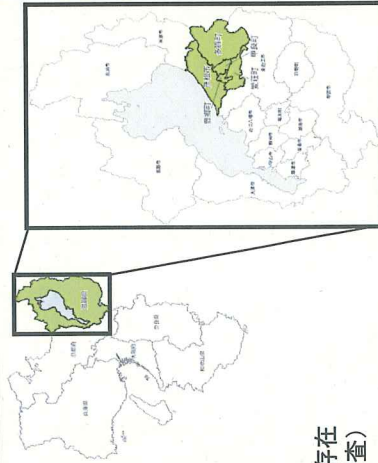
湖東圏域を走行する非低床車両をノンステップバスに置き換える。H27年は、ノンステップバス2両を導入する。

取り組みに対する評価 (C)

輸送人員(人)	彦根駅 市立病院線	彦根 県立大学線	計
H27 (H26.10月～H27.9月)	57,889	21,499	79,388
H28 (H27.10月～H28.9月)	61,711	23,959	85,670

ノンステップバスを導入した路線について、左表のとおり、郵送人員の増加がみられた。
比較増減(H27-H28)
+6,282人

概要図・参考資料



人口：15.6万人
(平成28年1月1日現在推計人口)
面積：392平方キロメートル
合併状況：平成18年愛荘町
(旧愛知川町、旧秦荘町)
過疎地域等指定：多賀町内に一部
振興山村地域が存在
(旧愛知川町、旧秦荘町)
高齢化率：24%(平成27年国勢調査)
ノンステップバス車両の導入状況：
7両(全21両で、ほか14両が非低床)(H29.1月時点)
協議会等開催状況：H27年 7月 平成27年度第1回協議会開催
H27年12月 平成27年度第2回協議会開催
H28年 3月 平成27年度第3回協議会開催
H28年 6月 平成28年度第1回協議会開催
H29年 1月 平成28年度第2回協議会開催

自己評価から得られた課題、対応 (A)

当初の計画とおり、2両のノンステップバスを導入し、輸送人員も堅調に増加している。しかしながら、H29.1月時点で、圏域を走行するノンステップバス車両の導入状況は7両であり、非低床バスは14両である。よって、ノンステップバスの導入割合は、約33%にとどまる。

対応としては、老朽化した車両から、計画的にノンステップバス車両に更新していく予定である。

アピールポイント、特に工夫した点など

ノンステップバス車両の導入にあたっては、リース契約を行っている。契約の際には、湖国バス株式会社は、近江鉄道グループであることから、グループのスケールメリットを活かして、リース金額の圧縮を図っている。

※枠が足りない場合等適宜作成可、必要に応じて参考資料を添付願います。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年 1月 17日

協議会名:	湖東圏域地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	バリアフリー化設備等整備事業
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	湖東圏域を走行するバス車両は21両で、そのうち7両がノンステップバスで、残りの14両が非低床車両である。ノンステップバスは、車いす使用者をはじめ、歩行困難者や障がいをお持ちの方、高齢者、妊婦、ベビーカー利用者などあらゆる利用者に対し利便性を発揮することから、誰もが社会参加できる機会を増やすことを事業の目的としているところである。また、公共交通機関の利用環境の改善を図ることで、誰もが安心して移動できる地域公共交通ネットワークの形成を目指す。

地域公共交通バリア解消促進等事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年 1月 17日

協議会名: 湖東圏地域公共交通活性化協議会

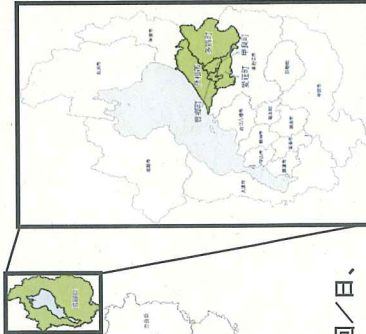
評価対象事業名: バリアフリー化設備等整備事業

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
湖国バス株式会社	ノンステップバス2台導入		A 計画どおり事業は適切に実施された。	A 計画どおり2台のノンステップバス車両を導入した。	当該年度の事業は完了した。しかしながら、湖東圏域を走行するノンステップバス車両は、7両で、21両ある車両のうち、占める割合は約33%にとどまることから、引き続き、老朽化したバス車両からノンステップバスへの置き換えを進める必要がある。(H29.1月時点)

目的 計画 目標 (P)

- 地域内ファイダー系統名称
予約型乗合タクシー「愛のりタクシー」
- 運行主体：近江タクシー株式会社
- 事業の目的および計画内容
比較的低コストで交通空白地域を解消することを目的として、セダン型タクシーを
活用した予約型乗合タクシー「愛のりタクシー」を導入することにより、交通空白
地域の解消と住民の移動手段の確保を図る
- 定量的な目標
乗合率(1便当りの利用者数) 一日平均1.5人以上
- 上位計画における位置づけ
● 湖東圏域地域公共交通総合連携計画(第2次計画)(平成26年3月)
「湖東圏域の1市4町が連携して圏域内の公共交通のネットワーク化を図り、J
R及び近江鉄道駅へのアクセス向上とバスや予約型乗合タクシーなどの多様
な交通体系を活用した公共交通を構築」と位置づけられている。
- 湖東圏域定住自立圏形成協定(平成26年12月)
「西日本旅客鉄道(株)および近江鉄道(株)と連携強化を図り、それぞれの鉄道
へのアクセス向上のため、デマンドタクシーなど多様な交通体系を構築」と位
置づけられている。

概要図・参考資料



人口：15.6万人
(平成28年1月1日現在推計人口)
面積：392平方キロメートル
合併状況：平成18年愛荘町
(旧愛知川町、旧秦荘町)
過疎地域等指定：多賀町内に一部
振興山村地域が存在
高齢化率：24%(平成27年国勢調査)
系統数：16系統(内国庫補助15系統)
運行回数：各系統12回/日
(ただし宮田線・山手線・松原線は11回/日、
小野線(循環線)は6回/日、
愛荘西部線・金剛輪寺線は14回/日)

自治体等負担額：H25 41,220千円、H26 46,690、H27 50,030千円
協議会等開催状況：H27年 7月 平成27年度第1回協議会開催
H27年12月 平成27年度第2回協議会開催
H28年 3月 平成27年度第3回協議会開催
H28年 6月 平成28年度第1回協議会開催
H29年 1月 平成28年度第2回協議会開催

具体的取り組み (D)

平成27年度に引き続き、JRや近江鉄道の各駅を結節点としながら、事前に実施したアンケート調査等による住民ニーズを基に、主要医療施設やスーパー等への移動が可能となるよう、市町の区域を越えて運行した。これにより、需要に応じた柔軟かつ効率的な輸送の実現と、持続可能な交通維持の仕組みの構築を図るとともに、交通便利性の地域間格差の是正を図った。

特に、平成28年度はこれまでの課題解決や将来の需要増加への対応を実施した。具体的には、同停留所間で路線利用時に異なる運賃の是正、多賀大社前駅(近江鉄道)での接続性向上を図るダイヤ改正を実施した。

その他、地域住民や自治会等から要望のあった停留所の新設や移設に対応した。

取り組みに対する評価 (C)

平成28年度(H27.10~H28.9) 乗合率約1.48人(平成27年度平均1.39人から増加)

平成28年度は約33,000人(平成27年度約31,000人)もご利用で運行開始以降から続けて増加となった。また、乗合率は昨年度より上昇して1.48人となり、平成28年度(H28.9)目標である1.5人を達成する水準に近づいている状況である。

愛のりタクシー自体の利用者は今後とも増加していく見込みであることから、引き続き将来にわたり運行可能な仕組みへの改善と合わせて、乗合率を向上させるための効果的な対策を検討する必要がある。

自己評価から得られた課題、対応 (A)

継続して利用者が増加していることから、公共交通空白地域の解消には一定寄与しているものと判断される。引き続き適切な情報提供(乗車・予約方法、運行ルートなど)に努めつつ、鉄道ダイヤとの整合性等も踏まえ必要な改善を図っていく必要がある。

今後の高齢社会の進展により、利用者は今後とも増え続けることが見込まれているが、タクシー車両数は無限でないこと、自治体の負担額の増加についての課題から、将来を見据えた効率的な運行制度(同時刻発停留所の見直しなど)を検討する必要がある。合わせて、乗合率向上のために、乗車に対し何らかのインセンティブを利用者に付与するなどの対策を引き続き検討する。

アピールポイント、特に工夫した点など

予約型乗合タクシーは各市町の枠を越えて、各集落と主要医療施設・スーパー・公共施設等を乗り換えなしで結ぶ路線を設定し、各市町の公共交通空白地域を概ねカバーできている。多くの路線を運行しているため、エリアごとにバリエーションを分け、利用しやすいようにしている。

また、運転免許証を自主返納した方に回数券9,000円相当を交付し、交通事故防止とあわせて公共交通の利用促進を図っている。

※枠が足りない場合等適宜作成可、必要に応じて参考資料を添付願います。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

平成29年 1月 17日

協議会名:	湖東圏地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内ライダーシステム確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>【事業実施の目的・必要性】 湖東圏域には多くの公共交通空白地域が存在し、住民の日常生活に不便を強いられ続けている状況である。一方、路線バスについても、毎年多額の赤字額を計上しているなか、交通空白地域においてバス路線で対応することが困難である。そのような中で、比較的低コストで交通空白地域の解消を目的として、セダン型タクシーを活用した予約型乗合タクシー「愛のりタクシー」を導入し、確保・維持することにより、交通空白地域の解消と住民の移動手段の確保を図るものである。</p> <p>【生活交通ネットワーク計画との関連】 地域協働推進事業に含まれる予約型乗合タクシーの運行や紙媒体・WEB/携帯での情報提供が、生活交通ネットワーク計画(地域内ライダーシステム)と密接に関連しており、生活交通ネットワーク計画の目標の達成として定めている。そのため、協働推進事業で実施したダイヤ改正や、地域住民や自治体等の要望に対応した停留所の新設・移設、パンフレットによる周知等は生活交通ネットワーク計画の目標達成に寄与している。今後は、予約型乗合タクシーの効率化を図り、目標である乗合率向上の具体的施策を検討する必要がある。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年 1月 17日

協議会名: 湖東圏地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内ライダーシステム確保維持費用庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
近江タクシー株式会社	河瀬東・豊郷線 市立病院～河瀬駅西口～雨降野信号前	利用実態のデータから、当初目的の地として設定したエリアからの移動が見られたが、設定時に想定していなかったこともあり、同停留所間の利用でも路線が異なることで運賃が変わる停留所の組み合わせがあったため、利用者にとつて分かりやすい運行になるよう、一部路線で運賃を改正した。	A 事業が計画に位置付けられている。また、地域住民からの要望で、新設停留所を設けて利便性を向上を行うとともに、運賃を改正し、他の路線との整合性を図った。	A 平成28年度の利用者は約2,700人と昨年度(約2,500人)より増加。また、乗合率は、1.50人と昨年度(1.33人)より上昇した。	湖東圏域全体として、利用者数は増加し、乗合率も上昇し、目標値まで後少しのところまで迫っている状況である。年々利用者数が増加し、ある一定程度の頭打ちになったことから、各便での乗合となる確率も増加したため、乗合率の向上に繋がったと考えられる。
近江タクシー株式会社	亀山線 市立病院～河瀬駅西口～豊郷駅	また、効率的な運行を目指し、一部路線で試験的に、同時刻発の停留所を減らし、多賀町の河内線、萱原線、大君ヶ畑線にて近江鉄道の多賀大社前駅での乗換え接続向上を図ったダイヤ改正を行った。	A 事業が計画に位置付けられている。	B 平成28年度の利用者は約800人と昨年度(約1,000人)より減少。しかし、乗合率は、1.26人と昨年度(1.24人)より若干上昇した。	一方、平成26年7月から実施したモニタリング調査の結果と蓄積されたデータから、主な利用目的は通院であり、予約時間などの制約から、自発的に乗り合うことが難しい様子が伺えた。一方で、乗り合うことへの抵抗がある人は、7.3%と低いこと、乗り合いを増やすための方策として目的の地までの所要時間が10分長くなることに対して56%が許容できると回答されたことを鑑み、今年度実施した同時刻発の停留所を減らした、細かいダイヤ設定を他路線でも継続して検討していく。これは、将来、需要が増加しても配車に必要な台数を抑制し、持続可能性の観点からも重要であると考えられる。
近江タクシー株式会社	宮田線 市立病院～鳥居本～摺針	加えて、昨年度に利用状況のデータベースおよびデータ処理ソフトを作成したため、今年度は各路線のトリップ・パターン分析を行い、需要分析を行った。	A 事業が計画に位置付けられている。	B 平成28年度の利用者は約1,100人と昨年度と同程度。また、乗合率も、1.21人と昨年度と同じ。	た。一方、乗り合うことへの抵抗がある人は、7.3%と低いこと、乗り合いを増やすための方策として目的の地までの所要時間が10分長くなることに対して56%が許容できると回答されたことを鑑み、今年度実施した同時刻発の停留所を減らした、細かいダイヤ設定を他路線でも継続して検討していく。これは、将来、需要が増加しても配車に必要な台数を抑制し、持続可能性の観点からも重要であると考えられる。
近江タクシー株式会社	山手線 市立病院～鳥居本～笹尾	図ったダイヤ改正を行った。	A 事業が計画に位置付けられている。	B 平成28年度の利用者は約600人と昨年度(約700人)より若干減少。また、乗合率は、1.23人と昨年度(1.27人)より下降した。	た。一方、乗り合うことへの抵抗がある人は、7.3%と低いこと、乗り合いを増やすための方策として目的の地までの所要時間が10分長くなることに対して56%が許容できると回答されたことを鑑み、今年度実施した同時刻発の停留所を減らした、細かいダイヤ設定を他路線でも継続して検討していく。これは、将来、需要が増加しても配車に必要な台数を抑制し、持続可能性の観点からも重要であると考えられる。
近江タクシー株式会社	小野線(時計回り) 市立病院～鳥居本～高根団地東	また、効率的な運行を目指し、一部路線で試験的に、同時刻発の停留所を減らし、多賀町の河内線、萱原線、大君ヶ畑線にて近江鉄道の多賀大社前駅での乗換え接続向上を図ったダイヤ改正を行った。	A 事業が計画に位置付けられている。	A 平成28年度の利用者は約700人と昨年度(約600人)より増加。また、乗合率は、1.31人と昨年度(1.25人)より上昇した。	た。一方、乗り合うことへの抵抗がある人は、7.3%と低いこと、乗り合いを増やすための方策として目的の地までの所要時間が10分長くなることに対して56%が許容できると回答されたことを鑑み、今年度実施した同時刻発の停留所を減らした、細かいダイヤ設定を他路線でも継続して検討していく。これは、将来、需要が増加しても配車に必要な台数を抑制し、持続可能性の観点からも重要であると考えられる。
近江タクシー株式会社	小野線(反時計回り) 市立病院～鳥居本～高根団地東	また、効率的な運行を目指し、一部路線で試験的に、同時刻発の停留所を減らし、多賀町の河内線、萱原線、大君ヶ畑線にて近江鉄道の多賀大社前駅での乗換え接続向上を図ったダイヤ改正を行った。	A 事業が計画に位置付けられている。	A 平成28年度の利用者は約2,100人と昨年度(約2,000人)より若干増加。また、乗合率は、1.29人と昨年度(1.27人)より若干上昇した。	た。一方、乗り合うことへの抵抗がある人は、7.3%と低いこと、乗り合いを増やすための方策として目的の地までの所要時間が10分長くなることに対して56%が許容できると回答されたことを鑑み、今年度実施した同時刻発の停留所を減らした、細かいダイヤ設定を他路線でも継続して検討していく。これは、将来、需要が増加しても配車に必要な台数を抑制し、持続可能性の観点からも重要であると考えられる。
近江タクシー株式会社	新海浜線 市立病院～稲枝駅～豊郷駅		A 事業が計画に位置付けられている。	A 平成28年度の利用者は約2,100人と昨年度(約2,000人)より若干増加。また、乗合率は、1.29人と昨年度(1.27人)より若干上昇した。	た。一方、乗り合うことへの抵抗がある人は、7.3%と低いこと、乗り合いを増やすための方策として目的の地までの所要時間が10分長くなることに対して56%が許容できると回答されたことを鑑み、今年度実施した同時刻発の停留所を減らした、細かいダイヤ設定を他路線でも継続して検討していく。これは、将来、需要が増加しても配車に必要な台数を抑制し、持続可能性の観点からも重要であると考えられる。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
近江タクシー株式会社	石寺線 市立病院～稲枝駅～雨降野信号前		A	B	平成28年度の利用者数は約2,400人と昨年度(約3,100人)より減少。また、乗合率は、1.27人と昨年度(1.31人)より下降した。
近江タクシー株式会社	日夏線 友仁山崎病院～河瀬駅西口～豊郷駅		A	A	平成28年度の利用者数は約1,400人と昨年度と同程度。また、乗合率は、1.34人と昨年度(1.25人)より上昇した。
近江タクシー株式会社	愛荘西部線 稲枝駅～豊郷病院～湖東記念病院前		A	A	平成28年度の利用者数は約2,400人と昨年度と同程度。また、乗合率は、1.27人と昨年度(1.25人)より若干上昇した。
近江タクシー株式会社	金剛輪寺線 稲枝駅～豊郷病院～湖東記念病院前		A	B	平成28年度の利用者数は約3,100人と昨年度(約3,500人)より減少。また、乗合率は、1.39人と昨年度(1.43人)より下降した。
近江タクシー株式会社	甲良線 市立病院～甲良町役場～豊郷駅		A	A	平成28年度の利用者数は約5,900人と昨年度(約4,500人)より増加。また、乗合率は、1.71人と昨年度(1.44人)より上昇した。
近江タクシー株式会社	河内線 市立病院～多賀大社前駅～落合		A	A	平成28年度の利用者数は約4,300人と昨年度(約3,300人)より増加。また、乗合率は、2.02人と昨年度(1.82人)より上昇した。
近江タクシー株式会社	萱原線 市立病院～多賀大社前駅～旧保育園前		A	A	平成28年度の利用者数は約2,400人と昨年度(約2,500人)より若干減少。一方、乗合率は、1.71人と昨年度(1.64人)より上昇した。
近江タクシー株式会社	大君ヶ畑線 市立病院～多賀大社前駅～大君ヶ畑奥		A	A	平成28年度の利用者数は約3,300人と昨年度と同程度。一方、乗合率は、1.34人と昨年度(1.32人)より上昇した。